

報道関係者各位

2024年12月12日
BHQ株式会社
一般社団法人ブレインインパクト

11月29日オープン 東京都主催 未来の技術を体験できる 新拠点『Tokyo Mirai Park』にて BHQ 体験の常設を開始

BHQ株式会社(埼玉県さいたま市、代表取締役:川森 雅仁)は、一般社団法人ブレインインパクト(京都府京都市、理事長:山川 義徳)と連携して、東京都が推進する東京ベイ eSG プロジェクトの新たな発信・交流拠点『Tokyo Mirai Park』(日本科学未来館)にて、BHQ 体験の提供を11月29日から開始しました。

BHQ 体験では、国立大学法人神戸大学 DX・情報統括本部の藤井信忠教授、渡邊俊介学術研究員と連携して開発した BHQ Search を用いて、東京都から提供いただいた様々な「未来の東京」のイメージが脳に与える幸福感を測定します。体験では4つの「未来の東京」イメージを15秒ずつご覧いただき、どの「未来の東京」がご自身の最も脳を喜ばすかを、スマートグラスを用いた BHQ 推定によって測定します。さらに、心理と脳部位の相関が明らかになっている項目から、創造性や、意欲、自己肯定感等を高める「未来の東京」も測定することが出来ます。脳が好む「未来の東京」1位と2位に加えて、自分の好む「未来の東京」1位と2位が表示されるようになっており、これにより、自分の好みと脳の好みのギャップも知ることが出来ます。(図1)



図1: 「未来の東京」のイメージを用いた BHQ Search

東京ベイ eSG プロジェクトは、東京ベイエリアを舞台に、50年・100年先までを見据えたまちづくりを構想するプロジェクトで、『未来の東京』戦略(東京都、2021年3月策定)においても主要プロジェクトの一つとして位置づけられています。このプロジェクトの一環として、11月29日に新たな発信・交流拠点「Tokyo Mirai Park」が日本科学未来館にオープンしました。本施設では、持続可能な未来の都市実現に向けた先進技術やサービスの展示・実証が行われ、その1つとしてBHQ体験が、日本科学未来館の1階スペース「Park」にて、常設されています。(図2)

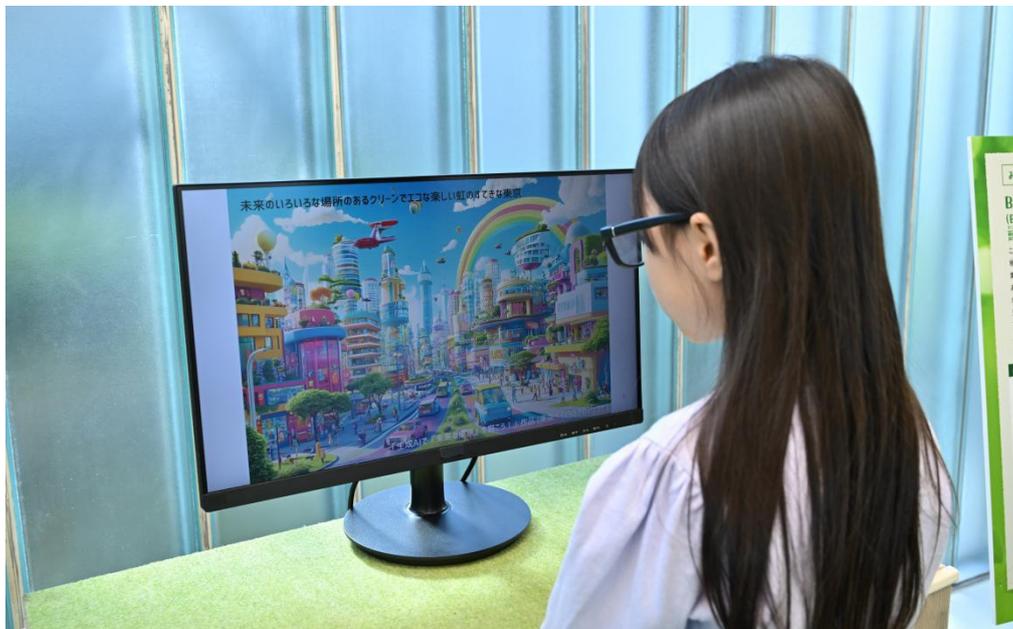


図2：BHQ Search 体験の展示の様子

BHQ 社は今後も脳の健康を通じて、持続可能な未来の都市実現に貢献していく予定です。

■開催概要

オープン日：2024年11月29日(金)～

会場：日本科学未来館 1階 (Tokyo Mirai Park)

開場時間：午前10時から午後5時まで ※毎週火曜日休館

入場料：無料

報道発表資料：「東京ベイ eSG プロジェクト」の新たな発信・交流拠点を設置します！

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/09/18/05.html>

■お問い合わせ先

BHQ 株式会社

E-Mail : bhq@bi-lab.org

BHQ 株式会社について(<https://www.bhq.co.jp/>)

BHQ 株式会社は、内閣府 ImPACT 山川プログラムにおいて開発された脳の健康指標 BHQ を基盤として、コンサルティングサービスの提供および異業種のコンソーシアムを運営しています(32社の民間企業および10の自治体や大学が参加)。37のMRIを保有する大学、病院にBHQドックシステムを提供しています。

一般社団法人ブレインインパクトについて(<https://www.bi-lab.org/>)

一般社団法人ブレインインパクトは脳の健康管理指標 BHQ に関連する各種取り組みについての国際標準化活動を推進すると共に、脳情報のデータベースを公的共用リソースとして提供しています。今回の研究成果を活用し、脳科学研究の振興及び研究成果の社会への還元をより一層進めていく予定です。ブレインインパクト理事長の山川は以下役職も兼務しています。

- ・東京工業大学科学技術創成研究院バイオインターフェース研究ユニット特定教授
- ・京都大学ブレインヘルスケア・ビジネスエコシステム寄附講座特命教授
- ・神戸大学産官学連携本部客員教授

東京ベイ eSG プロジェクト

(<https://www.tokyobayesg.metro.tokyo.lg.jp/esgpartners/>)

東京都では、ベイエリアを舞台に、50年・100年先を見据えて持続可能な都市を構想する「東京ベイ eSG プロジェクト」を推進しています。本構想の実現に向け、最先端テクノロジーを実装する「先行プロジェクト」を令和4年度から展開しています。